

3 マイタウン井田川まちづくり委員会



キャッチフレーズ

「元気で輝く井田川」をつくる

(4つの基本的方向性)

- 自然と歴史を大切にすまち
- 地域のきずなを育むまち
- 誰もが愛着を持てるまち
- 安心安全に暮らせるまち

1

マイタウン井田川まちづくり委員会って？

井田川地区においては「マイタウン井田川まちづくり委員会」を中心に平成18年から活発な地域活動を行ってきました。

当地区は、緑と水に恵まれた豊かな自然環境にあることや、穏やかで融和な住民同士のきずながあることなど、たくさんの魅力があります。

一方で、水害や地震などの自然災害・交通事故・火災・犯罪などに対して防災・防犯意識が地域全体に浸透していないことや、少子高齢化に伴う人口減少や担い手不足などの課題もあります。

こうした現状も踏まえ、有機的、能動的な組織力をより強く生かし、「元気で輝く井田川」をめざして(4つの基本的方向性)の実践に取り組んでいます。

2

主な取組

- 下記のとおり、各部会でさまざまな取組を実施しています。
- 農業振興部……食育授業の指導協力(野菜の植付と収穫など)
- 地域安全部……防犯活動(登下校時の見守り活動など)
- 福祉部……社会福祉協議会事業(1人暮らし高齢者の集いなど)
- 青少年育成部……井田川地区全体の活性化(井田川フェスティバル開催など)
- 体育振興部……ジョギング大会の開催など
- 文化広報部……「マイタウン井田川」発行など
- 自治会連合部……防災関連事業(避難所運営訓練など)
- すまいるサポート部……井田川ささえ合い支援事業(高齢者等支援を必要とする方のサポートなど)



3

今回紹介するのはこの事業！

【自治会連合部・防災関連推進事業】
 日時……毎月第3木曜日(会議)、随時(学習会、視察等)
 場所……井田川公民館
 目的……いざという時に効果を発揮する
 防災体制づくりを目指す



防災学習会

4

どんな課題や思いがあるの？



地区内には鈴鹿川や安楽川、棕川、芥川の4つの一級河川が流れており、市の防災マップでは、当地区の多くの場所が浸水想定区域となっています。実際に、昭和49年の台風の際は堤防が決壊し、和泉橋の崩落や、浸水などの被害も受けています。

自身の身は自分で守る自助とともに、地域や近隣の人々が互いに協力し助け合う共助の考えが大切であり、その考えに基づいた自主的な防災活動を推進し地域の防災力を高めていく必要があります。

5

地震時避難所運営訓練

令和6年度は、当地区の避難所である井田川小学校で避難所運営訓練を行いました。住民が主体となって、避難所運営会議を開き、安定した避難所運営のために総務班など役割を決め、受入体制の構築から受付、段ボールベットやテントの組立てなど実際の運営を想定して訓練を行いました。



受付



運営会議



テント組立て



委員長講評

6

今後について委員長の声



磯部委員長

当部会の取組を振り返ると「自然災害」をメインとして、その対応能力を高める為の学習及び知見を拡げる為の視察等を行うとともに、地域住民を巻き込んだ避難時の訓練を実施しました。防災意識を保持し続けるには、様々な条件を付与しながら訓練を継続していく必要があると感じています。

他方、部会のあり方については、もっと女性の意見を取り入れ、参加してもらえる仕組みができればと考えています。